

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 7月 19日

【評価実施概要】

事業所番号	0170101117		
法人名	合資会社 二幸		
事業所名	グループホームひまわり		
所在地	札幌市中央区南29条西10丁目7-1 (電話) 011-520-6338		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年6月22日	評価確定日	平成19年7月19日

【情報提供票より】(平成19年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 6月 4日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 4人, 非常勤 6人, 常勤換算	5.92人

(2) 建物概要

建物構造	コンクリート	造り
	3階建ての	1~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000~38,000 円	その他の経費(月額)	20,000~25,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	9名	男性 4名	女性 5名
要介護1	5	要介護2	2
要介護3	2	要介護4	0
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 74歳	最低 69歳	最高 81歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団林下病院・橋本歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所にはエレベーターが設置されているが、階段昇降など自立歩行を大切に支援を実践している。事業所全体が暖かい雰囲気を持っており、利用者との良好な関係が築かれている。また、協力医療機関との連携が密に取れており、医療面においても安心できるサービスが提供されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題を踏まえ、献立作成後に栄養士の確認・指導を受けている。また、外部研修に積極的に参加し、報告会も行っている。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	日々実践しているケアサービスを振り返りながら自己評価に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議において、前回評価での改善課題やその後の取組み状況を報告し、日々のケアに活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	事業所内の苦情相談窓口を重要事項説明書に明示している。また、事業所内に公的窓口を紹介するポスターを貼っており、外部に伝える機会を設けている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しているが、事業所が現在地に移転してからまだ日が浅く、交流を図る機会が少ない。今後、近隣住民との交流を深め、地域と密に連携を取ることが期待される。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念をつくりあげており、日々のケアに活かしている。	○	今後、地域密着型サービスの意義を基に、事業所の理念・方針・目標に反映させる取り組みを期待する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念が記載されているカードを常時携帯し、共有しながら日々のケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	当事業所は町内会に加入し、地域との交流を深める事に努めているが、活動や行事が少なく近隣住民との密なる交流が図られるまでには至っていない。	○	今後、町内会主催の行事があった際には積極的に参加すると共に、近隣住民との密なる交流を図ることが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々実践しているケアサービスを振り返りながら、自己評価に取り組んでいる。	○	今回一部の職員のみで自己評価を行われたが、今後、全職員で取り組む事が期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において、前回評価での改善状況やその後の取り組み状況を報告し、日々のケアに活かしている。</p>	○	<p>会議記録が整備されていないため、今後、記録の書式を工夫し、分かりやすく記載する事が期待される。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>当事業所は連絡協議会に加入しており、行政担当者のみならず市町村との交流も図られている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月発行している事業所便りにて、利用者の日頃の様子を家族に伝えている。また、利用者が受診している病院のソーシャルワーカーにも定期的に健康状態を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に事業所内の苦情・相談窓口を明示したり、事業所内に公的機関の苦情相談窓口を紹介するポスターを貼っており、外部へ伝える機会を設けている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>事業所の移転に伴い職員の異動が生じたが、利用者への影響を最小限に抑える配慮がなされている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、職員が研修に参加する機会を設け、積極的に受講することを促している。また、会議において研修内容を報告し、共有化を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の他事業所と連携を取り、交流を深めるような取り組みを始めた。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者に日帰り体験をしてもらい、顔馴染みの関係を築いてからのサービス開始となるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者へ「家族」の様に接する事を心がけており、支えあいながら共に生活する関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は日頃から利用者の思いや希望の把握に努め、その人らしい生活を過ごせるような支援を実践している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者本人・家族・介護支援専門員と話し合い、意見やアイデアを反映させた介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	利用者の日常生活の記録を基に、3ヶ月に1度の見直しを行っている。また、利用者の状態変化が生じた場合は、そのつど本人・家族・介護支援専門員と話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	利用者の状況に応じて、金銭管理や通院介助など柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者本人の希望を大切にし、定期的にかかりつけ医に受診したり、訪問看護に来てもらうなど適切な医療を受けられるような支援を実践している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	協力医療機関とも連携を取り、家族と共に相談しながら終末期のあり方についての方向性を決め、共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者一人ひとりの性格を考慮し、人格を尊重した対応がなされている。また、記録等の取り扱いにも十分な配慮がなされている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者一人ひとりのペースや希望を尊重し、生きがいや喜びを感じられるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の力量や好みに応じて、食事の盛り付けや後片付けなどを職員と共に行っている。また、職員も利用者と同じ食卓を囲み、和やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいる。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の意見を聞き、希望に沿うような入浴支援を行っている。また、状況に応じてシャワー浴や清拭も行っている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>掃除・散歩・書道など、利用者の生活歴に応じた役割や楽しみ事の支援を実践している。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の希望に応じた外出支援を行っている。また、町内会行事や音楽祭など、戸外での行事もあり、利用者が外に出る機会を多く設けている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関は夜間のみ施錠しており、日中は鍵をかけていない。利用者が外出する様子の時は、職員が階段昇降などを確認しながら同行し、安全への配慮もなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練を実施している。また、緊急時対応マニュアルも整備されている。	○	地域との協力体制が整っていないため、今後、近隣住民と密に連携を取り、災害時にも協力を得ることができるよう働きかける事が期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	量・バランス・好みなどが考慮された献立を作成しており、栄養士に献立を確認してもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間のカーテンを二重にしており、光の強さを調節する工夫がなされている。また、共用空間は明るく、利用者が居心地良く過ごせる雰囲気づくりがなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの物を持参しており、本人が落ち着いて安心して暮らせるような居室となっている。		

 は、重点項目。